

失敗できない重圧とやりがい



水谷さん

有害獣駆除専任班の一員で、狩猟歴10年の水谷啓司さんに、ハンターとしての活動について伺いました。

最初の3年間は射撃クラブに入って、射撃の腕を磨き、その後、実際に猟に出て、先輩から足跡の見方など実践的なことを教わりました。猟友会では、有害獣駆除活動を7年間経験し、2年前から専任班に加わり活動しています。

猟は人との出会いが大事です。どのようなグループに入るか、誰から教わるかで、猟の技術が変わります。最初に入ったグループでは、自身が撃ったシカを力を合わせロープで引き上げる体験をし、チームで行う猟の面白さに気づきました。実際に猟に出ると、全く同じことは起こらないので、やればやるほど奥深さを感じます。

また、加西の猟友会は狩猟歴50年以上のメンバーが大半ですが、縦社会ではなく、仲間として気さくに猟のことを教えてくれます。そして、有害獣駆除活動では、猟友会の会長らが事前に綿密な計画を立てているため安全なグループでの捕獲が実現しています。大変さもありません。



猟の後は、先輩たちと交流を深める。猟に役立つ話も。

冬期と違い、枯葉や雪がないので、動物を山から引きずり下ろす時、落ちていく枝などに引っ掛かるため重労働です。また、経験豊富な猟師でさえ結果を出さないといけない責任を感じる活動です。でも、結果のために失敗できない重圧よりも、地域に貢献できることや地元で猟師というお付き合いができることにやりがいを感じます。個人での猟とは猟場が違うので、10年経っても覚えることはまだまだあります。

全国的に狩猟ブームで、市外の猟仲間には若い人もたくさんいます。活動は負担にならないよう配慮があるので、ぜひ加西で猟を始めたいですね。



猟友会加西支部 有害獣駆除専任班のみなさん

獣被害から地域を守る

近頃、野生動物が人里に出てくるニュースをよく見かけるようになりました。加西でもシカやイノシシによる農作物被害は少なくなく、農家の悩みの種となっています。獣被害に立ち向かう猟友会の活動と地域での取り組みに迫ります。

ハンターによる有害獣駆除

野生動物の猟だけでなく、有害獣駆除も担っている猟友会。猟友会のハンターはどのような活動をしているのでしょうか？

狩猟の基本

猟はいつでも、できるわけではなく、実施期間が決まっています。猟期は、毎年11月15日から2月15日までです（シカ・イノシシのみ3月15日まで延長）。この期間は、兵庫県で狩猟者登録している猟師であれば、県内で猟ができます。それ以外の期間は、鳥獣害対策のために、猟友会加西支部で、市から許可を受けた人のみ、有害獣駆除ができます。

また、猟の手法は、銃を使う銃猟だけでなく、例えば、金網などで出来た箱（はこわな）に閉じ込めるわな猟に、鳥獣を捕まえるための網罠がありま。いずれの手法で猟をする場合も、狩猟免許が必要です。

動物被害の変化

50年ほど前、加西市ではシカやイノシシは、ほとんどいませんでした。近年、生息エリアが南下して、農作物がシカやイノシシに食い荒らされる被害が増えています。令和4年度の野生鳥獣による農作物被害は、面積約12ha、金額では1474万円

に上ります。背景にはこれらの動物の天敵の減少、私たちの暮らしの変化で山に入る機会が減ったこと、ハンターの減少などがありません。

被害を減らすために、市は猟友会へ委託し、有害獣駆除対策を行っています。4月に、狩猟免許所持者による銃猟が行われ、さらに、狩猟免許所持者から選抜された14名の有害獣駆除専任班による銃罠も、年間を通じて実施しています。夏季（6～9月）は、暑さによる猟犬の負担を考慮し、わな猟免許所持者によるわな猟を中心に行います。ただ、わな猟にも限界があります。野生動物の1日の移動距離は10キロ以上。とても用心深いので捕獲は容易ではありません。そこで、効果を発揮するのが銃罠です。猟犬が山を走ること、1カ月は、山に近づかなくなるそうです。昨年度の活動では、140頭を超えるシカとイノシシが捕獲されました。こうした活動により、シカの個体数は減少傾向にあります。が、動物の繁殖力は高く、対策を続けていかなければ被害を食い止めることはできません。

0 0 0 0 0 0

有害獣駆除のための銃罠をのぞいてみよう



解体作業



獲物の回収



持ち場へ移動

捕獲できたら

6. 獲物を回収する
捕獲後、すぐに血を抜き肉の鮮度を保つ仕事を終えた猟犬はロープにくくりま
7. 捕獲した獲物を解体する
皮をはぎ、部位ごとに解体します
大切な命を敬い、使い切るため、肉は皆でわけ、食べにくい部位は犬のエサにするなど無駄は出しません

捕獲するまで

1. 配置を決める
2. 山へ移動し、各自持ち場につく
3. 犬を放ち、猟がスタート
4. 獲物が追われて出てくるのを待つ
動物の逃走経路は大体同じ。経験から出てきそうな場所を想定する
5. 獲物が出てきたら撃つ

手法は？

猟は「巻き狩り」という方法で行われます。10人程度のグループで、山に猟犬を放して獲物を追い出し、持ち場につく人が撃つ方法です

当日までの準備

猟に出る1カ月ほど前から、撒き餌をし、毎日山に入って、シカやイノシシの行動パターンを把握します